

富士

登山客が集中し、山頂に自動販売機が並ぶ光景にも違和感があったという。「山はあえて不便なところに行くもの。日本人の自然の接し方は方向性が違っている」と意識の変革を訴え、24年から混雑緩和や安全確

不法投棄

人の「環」をどれだけ広げていくかがテーマになる」とと官民連携を含めた課題解決の広がり期待した。日本山岳会岐阜支部と中津川山岳会の主催。熱のこもった講演を約200人が聴き入った。



連表彰が行われた。農水省は毎年、農地利用の推進に顕著な実績を上げた農業委員会や委員を表彰している。同委員会は地域計画の策定や実行、遊休農地や所有者不明農地の解消などの活



に思つ人も多いと思いますが、漁協が魚の放流や産卵場整備、河川清掃、入川道整備など漁場管理をすることで魚が生息する豊かな川、釣り人が楽しめる釣り場が維持されていきます。それらの活動を行つための大切な資金源として遊漁料を納付することになっていま

釣り場には遊漁承認証をベストや帽子に付け、監視員が巡回の際は提示します。私の場合、大漁の時や大物が釣れた時、さおを折ってしまった時、遠征した川など、思い出深い過去の釣り券は大事にしまっています。今年も早い河川では2月1日に溪流魚が解禁となります。遊漁承認証は釣り人、魚、

なぜ遊漁料は必要なのか

釣り場を守る大切な資金源

日本三大清流に数えられる長良川に加え、木曾川に掛斐川。岐阜県の川が合わせ持つ豊かな自然と歴史、文化は、流域の人々が古くから「川は守るもの」として心に刻まれています。そんな清流で自由に釣りをしたいと考える人は多いと思います。

県内の河川や湖の多くは県知事から免許を受けた漁業協同組合（漁協）の漁業権漁場となっています。釣り人は、漁業権を免許された漁協への遊漁料の納付が必要です。

「川はみんなのものになぜ遊漁料の納付が必要なのか」と疑問



釣り人、魚、漁協、清流をつなぐ「遊漁承認証」

と比べて資源が枯渇しやすく、漁業を営む人と釣りを楽しむ人が混在するため、漁協による計画的な資源管理と遊漁者からの遊漁料徴収による増殖活動が不可欠なためです。

漁協、そして清流をつなぐ証明書のようなもの。これからも岐阜の清流を未来のためにみんなで守っていききたいですね。

遊漁料を納付すると各漁協から「遊漁承認証（釣券）」が発行されます。近年は携帯電話からの納付も可能で、大変便利になってきています。また裏面には漁期や禁漁区域、禁止事項などが記載されていますので必ず確認します。

県内の解禁情報は岐阜県漁業協同組合連合会のホームページで紹介しています。電子遊漁券納付はフィッシュパス (<https://www.fishpass.co.jp/>) またはリチケ (<https://www.tsuritickets.com/>) で購入可能です。（釣り師・鮎川ナオミ）

毎日集めて景品ゲ
「脳活新聞」

裏の目計算
サイコロの表の目を参考に
裏の目の数で計算しよう
※サイコロの表と裏の目を足すと7になる



脳活新聞

県農業高校ブラジル会の総会が、大垣市宮町のクイーンテッサホテル大垣で開かれ、本年度の海外実習派遣事業に参加した高校生が成果を報告した。派遣は本年度で44回目。

海外実習、高校 県農業高ブラジル

